

第11回 熊本県医療人育成総合会議 講演会

ウィズコロナ時代の臨床実習

医療はサイエンス、アートそしてヒューマン・プラクティス(対人行為)の融合体であり、いずれも高度な内容を求められます。その中で医療人育成における臨床実習は、技術面と対人行為面の習得を担うものと考えられます。

近年、世界標準化している手法であるクリニカルクラークシップ(臨床参加型)は学生を医療スタッフの一員として位置付けるため、必然的に医療現場における医療スタッフの密度と患者との接触時間を増大させます。医療スタッフ密度と患者との接触時間の最小化最短化が至上命題となっているコロナ禍において、臨床実習体制は一時的に制限を余儀なくされました。

臨床実習体制の再構築に向けて実習シミュレーターとヴァーチャルシステムをいかに活用し、それらが十全に機能した場合に残るものは何なのか、臨床実習の本質と課題について議論を深めます。



■と き 令和2年 11月23日(月・祝)

13:30~17:30(予定) ※開場 13:00

■ところ 熊本大学医学総合研究棟3階 講習室

(熊本市中央区本荘 1-1-1)

Program

1

コロナショックと社会の未来

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 教授 松下 修三 氏

2

熊本大学医学部医学科での遠隔臨床実習について

熊本大学大学院生命科学研究部附属臨床医学教育研究センター 准教授 古川 昇 氏

3

コロナ禍で感じた薬学部実習の問題点や進むべき方向性

熊本大学大学院生命科学研究部薬物治療設計学分野 教授 石塚 洋一 氏

4

コロナ禍における看護学臨床実習

熊本大学大学院生命科学研究部在宅・老年看護学講座 准教授 安武 綾 氏

5

臨床実習代替教育の現状とウィズコロナ時代の臨床実習教育

熊本総合医療リハビリテーション学院 教育部 理学療法学科長 池田 耕治 氏

6

シミュレーション教育(シム教育)はウィズコロナ時代の医学教育の救世主なのか?

琉球大学病院長 おきなわクリニカルシミュレーションセンター長 大屋 祐輔 氏

7

総合討論

全体司会

熊本大学大学院生命科学研究部 教授 尾池 雄一 氏
熊本大学大学院生命科学研究部 教授 中村 公俊 氏

お申し込み方法

郵便番号、住所、氏名、勤務先、職種、電話番号を下記の方法でお伝えください。
また、複数人での応募の場合も、それぞれの必要事項をご記入下さい。

電話 & FAX 096-373-5425(肥後医育振興会 ※電話受付は 平日9:30~16:30)
FAXの方は裏面のFAX申込書をご利用ください。

メール 119higo@kumamoto-u.ac.jp

ご参加の方には、開催の1週間前をめどに聴講券(1枚につき1人入場可)をお送りします。

聴講券の発送は、事務局の熊本日日新聞社より行います。

※いただいた個人情報は、実行委員会でも共有・管理し、当事業の運営にのみ利用します。

※天災や感染症等の状況によっては、講演会の開催を中止とする場合があります。

主催：公益財団法人 肥後医育振興会 後援：熊本日日新聞社

協力：高橋酒造株式会社、一般財団法人 化学及血清療法研究所

参加無料

先着100名

定員になり次第
締め切ります。

新型コロナウイルス感染症 対策について

スタッフは全員マスクを着用します。
また、手洗い、手指消毒の励行及び、検温を実施し、健康管理に万全を尽くします。

— ご来場の皆さまへ大切なお願い —

発熱または風邪症状がある場合は
参加をご遠慮ください。

ご来場の際は下記へのご協力をお願いいたします。

- ・入場時の検温のご協力
- ・マスクの着用・咳エチケットの励行
- ・会場設置のアルコールでの手指消毒
- ・ヘルスチェックシート記入

ウィズコロナ時代の臨床実習

FAX申込書 / 096-373-5425

フリガナ		勤務先	職種
氏名			
住所 (聴講券の送り先)	〒	電話	

フリガナ		勤務先	職種
氏名			
住所 (聴講券の送り先)	〒	電話	

フリガナ		勤務先	職種
氏名			
住所 (聴講券の送り先)	〒	電話	

フリガナ		勤務先	職種
氏名			
住所 (聴講券の送り先)	〒	電話	

■会場MAP

